

2015 年度 第 4 回 CPC 研究会

日 時: 9 月 18 日 (金) 13:30 ~ 16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 15,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「炭素めっき技術の創出と事業化への展開」

アイ エムセップ株式会社 伊藤 靖彦 氏

- 1) 溶融塩電気化学プロセス(MSEP)の概要
- 2) MSEP による炭素めっき
 - (1)原理
 - (2)めっき膜の特性
 - (3)応用例
 - (4)技術開発の現状
- 3) 炭素めっき技術の事業化への展開

演者らは、溶融塩電気化学プロセス(MSEP)による「炭素めっき技術」を提案し、その可能性を実証しました。得られる炭素膜は、緻密で密着性に優れ、導電性、耐食性も高いので、種々の分野での応用展開が期待されています。また、電解条件によっては、多孔性の炭素膜を形成することも可能です。本講では、この炭素めっき技術の原理の説明から、期待されている応用展開分野、さらにはアイ エムセップ株式会社で進めている技術開発の現状や事業化への展開に至るまで、具体例をもとに解説します。

15:05 ~ 16:30

「炭素表面構造と電極触媒活性」

大阪市立工業研究所 丸山 純 氏

- 1) 非貴金属系燃料電池正極触媒としての炭素触媒材料について
- 2) 非貴金属系水電解セル陰極触媒としての炭素触媒材料について
- 3) バナジウムレドックスフロー電池電極触媒としての炭素触媒材料について

水素を媒体とした次世代のエネルギーシステムの要となるデバイスである、固体高分子型燃料電池の正極反応に対する触媒として、異元素を含んだ炭素材料が注目されています。最近になり、燃料電池と同様に水素エネルギーシステムの要となる水電解システムの陰極反応に対する触媒能や、大規模な蓄電システムとして有望とされているレドックスフロー電池の電極反応に対する触媒能を有する炭素材料が見出されています。講演では、これらの反応と、その反応場となる炭素表面の構造との関連性についてお話しします。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8712
9 月 18 日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係
ご所属:
Tel: Fax:
E-mail: